

浅野 健一



あさの・けんいち
愛知県出身、64歳。67年京大卒、同年トヨタ入社、中国部長などを経て、00年トヨタオーストラリア社長に就任。04年から朝日航洋社長と現職を兼任。

の迅速な1次審査に役立つ」
——マンション評価はどうか。
「価格情報だけでなく周辺物件の販売事例、地域特性、利便性などを加味し高精度な評価が可能になる。統計学を利用したブレの少ない情報を提供する。好評のため4月1日からは物件エリアを従来の首都圏から近畿圏、中京圏へと拡大する」
——サービス利用の効用は。
「ASP(ソフトの期借貸し)サービスのため初期コストが不要な点。内部構築に比べて短期間で導入できる点もメリットだ。また、これまで人的要素が多かった担保評価業務の標準化、複雑な評価業務の効率化が図れる」
——金融機関に求められるITは。
「加速するビジネスモデルに対応するシステム作りには、アウトソーシングなど外部データの有効活用が肝要。また、業務の合理化や、スキルの平準化を推し進めるためのIT活用を目指すべき」
——今後の戦略は。
「『地図上にすべての金融情報を』の実現を目指す。金融にかかわる土地情報を、高精度、高精度で提供し金融機関の担保業務、資産調査を支援していきたい」
(聞き手＝矢沢 哲夫)

不動産評価サービスを展開するタス。同社が提供する「T&S MAP」の金融機関ユーザーは100社を超え、融資の1次審査などでの利用が多い。また、昨年からは開始した「マンション評価サービス」も好調。4月からは物件エリアを拡大する。「地図上にすべての金融情報を」を掲げる浅野健一社長に現状と今後の戦略を聞いた。



(137)

外部データの有効活用肝要

地図上にすべての金融情報

様々な不動産情報が取得できる。さらに事例を重視した不動産鑑定手法を基に、高精度な不動産評価が得られる。住宅ローン、アパートローンなど

初期コストが不要な点。内部構築に比べて短期間

「ASP(ソフトの期借貸し)サービスのため初期コストが不要な点。内部構築に比べて短期間

「ASP(ソフトの期借貸し)サービスのため初期コストが不要な点。内部構築に比べて短期間